地　　理　　A

（解答番号 1 ～ 30 ）

第１問　現代社会における地図と地理情報の活用に関する次の問い（**問１** ～ **６**）に答えよ。（配点　20）

問 1　次の図１は，ある地域の 1985 年と 2015 年に発行された 2 万 5 千分の 1 地形図（原寸，一部改変）である。図１中のＡ～Ｄは，2015 年に主に住宅地として利用されている範囲であり，下の①～④の文は，Ａ～Ｄのいずれかについて述べたものである。Ａについて述べた文として最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 1

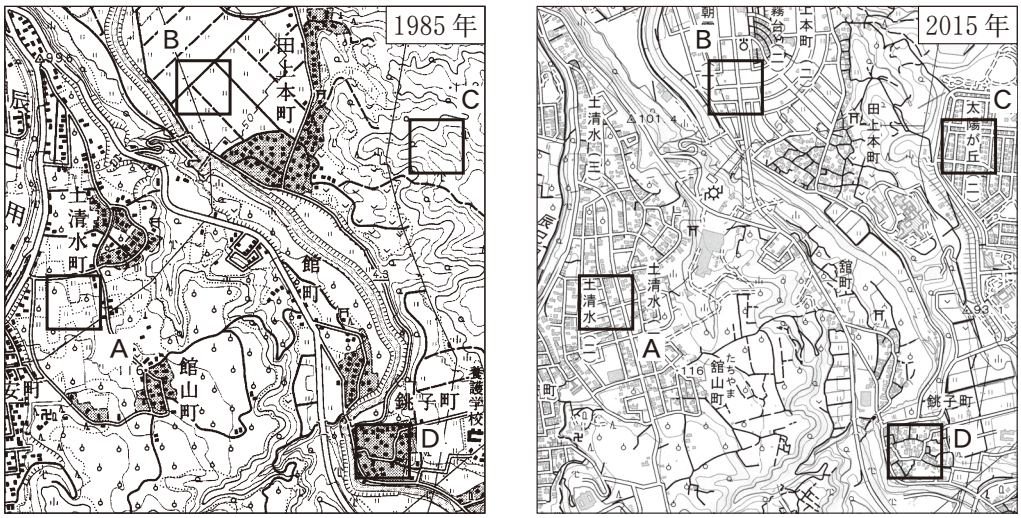


図　1

①　尾根や谷が入り組んだ傾斜地を造成してつくられた。

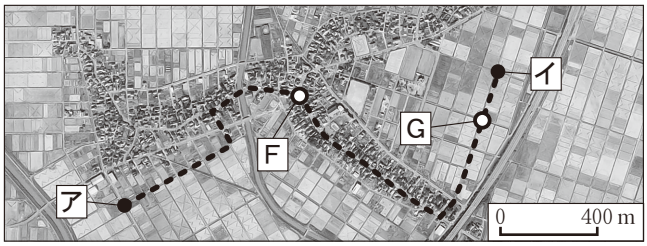
②　主に水田として利用されていた低地につくられた。

③　果樹園や水田として利用されていた台地上につくられた。

④　かつてから住宅地であった。

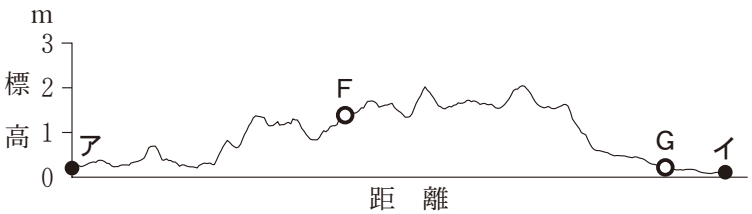
問 2 次の図 2 は，自然堤防や後背湿地を含む日本のある地域の空中写真であり，下の図 3 は，図 2 中の地点**ア**と**イ**を結ぶ点線に沿って，数値標高データを用いて作成した地形断面図である。また，下の文 a と b は，図 2 中の地点 F と G のいずれかの地形の特徴について述べたものである。自然堤防に該当する地点と文との組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

2



国土地理院の資料により作成。

図 2



地理院地図により作成。

図 3

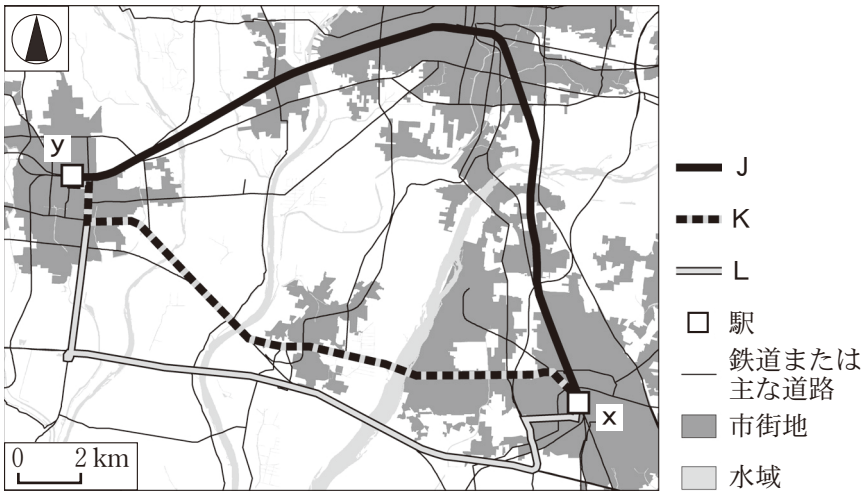
a 川や旧河道に沿ってみられる水はけの良い地形

b 地盤が軟弱かつ水がたまりやすい地形

	①	②	③	④
地 点	F	F	G	G
文	a	b	a	b

問 3 次の図 4 は，ある地域の x 駅から y 駅まで移動するときに，GIS(地理情報システム)を用いて検索したいくつかの経路を示したものであり，J ～ L は，一般道のみを利用する経路，高速道路を利用する経路，鉄道を利用する経路のいずれかである。また，下の表 1 は，経路の長さと，平日の異なる時間帯の出発を想定した所要時間*の検索結果を，経路ごとに示したものである。経路と J ～ L との正しい組合せを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 3

*鉄道を利用する経路は，快速列車を利用するものとし，所要時間は x 駅での待ち時間を含まない最短乗車時間。



国土数値情報などにより作成。

図 4

表 1

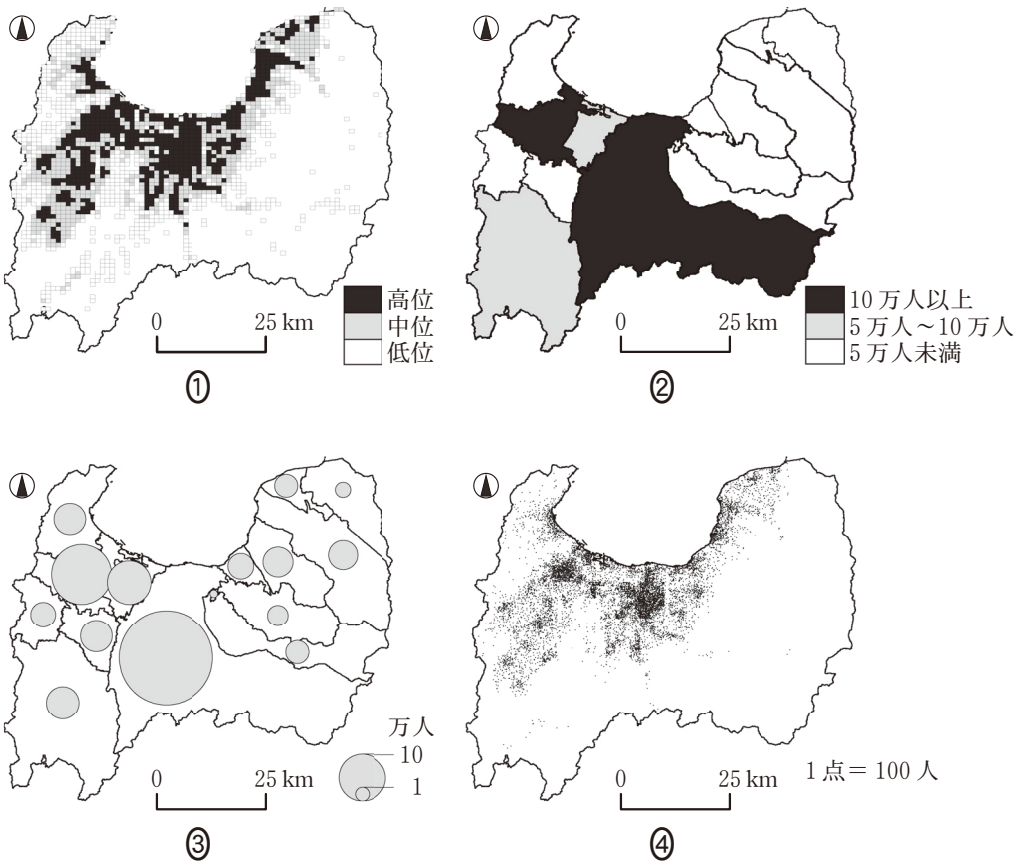
	経路の長さ(km)	x 駅から y 駅までの所要時間(分)	
		午前 8 時頃出発	午後 2 時頃出発
J	26.9	21	21
K	20.1	53	47
L	26.1	37	36

Google マップにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
一般道のみを利用する経路	J	J	K	K	L	L
高速道路を利用する経路	K	L	J	L	J	K
鉄道を利用する経路	L	K	L	J	K	J

問 4 GIS を利用して統計地図を作成する際には，統計データの種類や性質によって適当な地図の表現方法を選択する必要がある。次の図 5 は，ある県における人口を，異なる方法によって統計地図として表現したものである。人口を表現した統計地図として**適当でないもの**を，図 5 中の①～④のうちから一つ選べ。

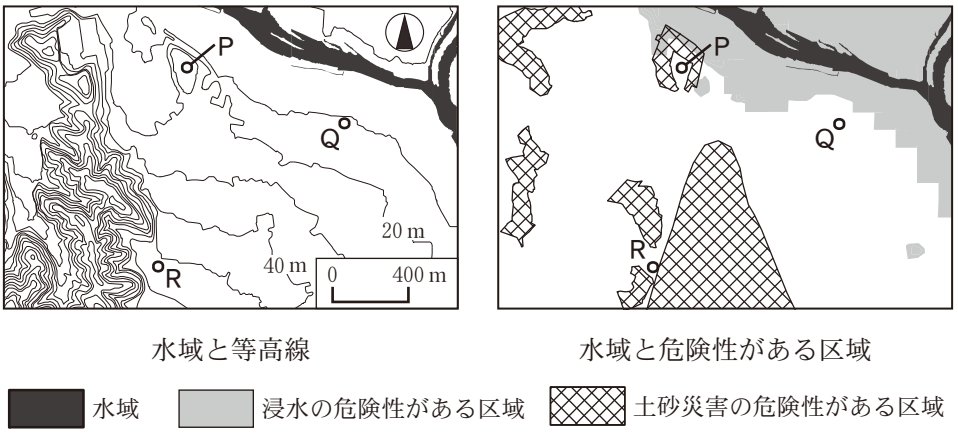
4



統計年次は 2015 年。国勢調査などにより作成。

図 5

問 5 次の図 6 は，ある地域における大雨に伴う災害時の避難場所を考えるために，GIS を用いて地域の特徴を示したものであり，下の文章**カ**～**ク**は，図 6 中の P ～ R のいずれかの地点について，避難場所としての長所と短所を述べたものである。P ～ R と**カ**～**ク**との組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5



基盤地図情報などにより作成。

図 6

カ 山地から離れた地点であり，土砂災害の危険性は低い。しかし，地点の北側では浸水に注意が必要である。

キ 山地に近い地点であり，浸水の危険性は低い。しかし，周囲では崖崩れや土石流に注意が必要である。

ク 周囲よりも標高が高い地点であり，浸水の危険性がある区域には含まれていない。しかし，周囲では崖崩れや浸水に注意が必要である。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Q	キ	ク	カ	ク	カ	キ
R	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 6　大規模な地震の発生時には，公共交通機関が停止し，外出先からの帰宅手段が徒歩のみとなる人たちが多く発生することが指摘されている。こうした事態への対策として，地理情報と GIS を活用した事例について述べた文として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 6

① 駅から一定距離内に位置する公共施設を特定し，帰宅が困難となった人たちが一時的に滞在できる施設数を把握した。

② 帰宅が困難となった人たちが滞在可能な施設であることを示すステッカーを作成し，建物の出入口に貼り付けた。

③ 帰宅者の自宅までの徒歩での距離を計測し，遠距離のために帰宅が困難となる人数を推計した。

④ 道路データと，土砂災害の危険性がある区域データとを重ね合わせることで，帰宅者が利用すると危険なルートを把握した。

第 2 問　地理の授業で，なぜ私たちは世界の様々なものを飲んだり食べたりできるのだろうか，という課題を探究することになった。食文化に関する次の問い(**問 1 ～ 6**)に答えよ。(配点　20)

問 1　チサキさんたちは，日本でも流行したタピオカミルクティーを切り口に，食文化の多様性を調べた。次の資料 1 は，タピオカミルクティーの概要をノートにまとめたものであり，A～Cは，タピオカミルクティーの原材料であるキャッサバ，サトウキビ，茶のいずれかについて，生産量上位 5 か国とそれらが世界に占める割合を示したものである。原材料名とA～Cとの正しい組合せを，次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。　7

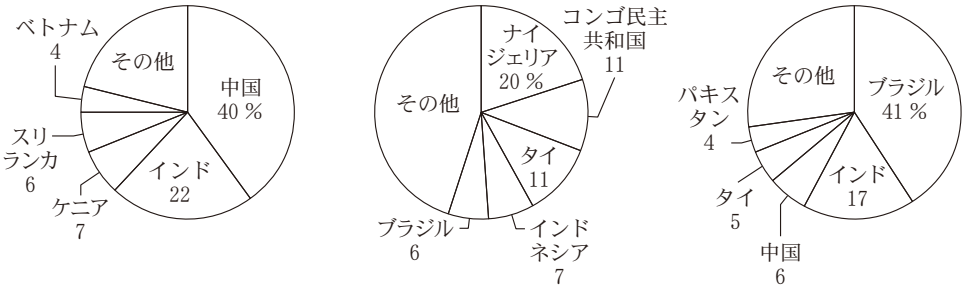
資料　1

タピオカミルクティーについて



✎砂糖を入れたミルクティーに，キャッサバから作られた大粒のタピオカを入れた，台湾発祥の茶飲料。

✎日本をはじめ世界で流行し，地域の特性に合わせた様々な種類がある。



✎なぜ世界の様々なものが集まり，飲んだり食べたりできるようになったのだろうか。

中国の数値は台湾，ホンコン，マカオを含まない。
統計年次は 2017 年。『世界国勢図会』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
キャッサバ	A	A	B	B	C	C
サトウキビ	B	C	A	C	A	B
茶	C	B	C	A	B	A

問 2 チサキさんたちは，資料 1 中の下線部に関して，世界中の様々なものが日本で食べられるようになった理由について，輸入される食べ物の事例をあげて考えてみた。その理由と事例として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 8

① 原産地を表示する制度により，地域ブランドを明示したフランス産のチーズが安価に輸入されるようになった。

② 自由貿易協定の締結により，オーストラリア産の牛肉が低い関税で輸入されるようになった。

③ 輸送技術の向上により，ニュージーランド産のカボチャが日本での生産の端境期（はざかいき）に輸入されるようになった。

④ 養殖技術の確立により，ノルウェー産のサーモンを一年中輸入できるようになった。

問 3 次にチサキさんたちは，いくつかの作物について，栽培起源地域，栽培起源地域およびヨーロッパにおける1人当たり年間供給量，伝播(でんぱ)の過程を次の資料2にまとめた。資料2中のE～Gは，キャッサバ，コーヒー，茶のいずれかであり，X～Zには，下の**ア**～**ウ**のいずれかの地域が当てはまる。X～Zと**ア**～**ウ**との組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

資料　2

作　物	栽培起源地域	1人当たり年間供給量(kg)		伝播の過程
		栽培起源地域	ヨーロッパ	
E	(　X　)	0.6	4.1	イスラーム(イスラム教)の地域を経由して伝わった。
F	(　Y　)	1.1	0.6	陸路と海路による交易を通して伝わった。
G	(　Z　)	20.5	0.0	大西洋における貿易を通して伝わった。

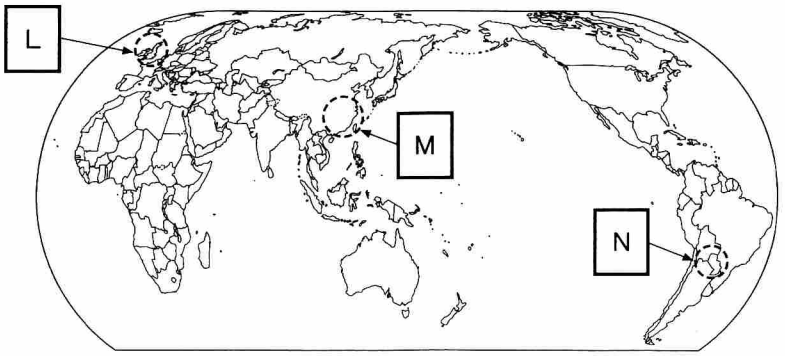
統計年次は2013年。FAOSTATなどにより作成。

ア　アフリカ　　**イ**　中央・南アメリカ　　**ウ**　東アジア

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
Y	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
Z	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 4 茶は世界各地に伝播しており，その飲み方は多様である。チサキさんたちは，それぞれの地域で生まれた茶やそれに類するものの飲み方の写真・説明文を作成し，世界地図に貼り付けた。次の資料 3 中の空欄 L ～ N には，**カ**～**ク**のいずれかの写真・説明文が当てはまる。空欄 L ～ N と**カ**～**ク**との組合せとして最も適当なものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 10

資料 3





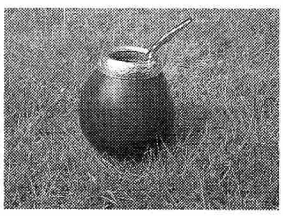
揚げ物などを食べる際に，ポットに葉と湯を入れ別の器に注いで飲む

カ



午後に社交の場で，ポットに葉と湯を入れ別の器に注いで飲む

キ



入植者に広まったもので，器に葉と湯や水を入れストローで飲む

ク

	①	②	③	④	⑤	⑥
L	カ	カ	キ	キ	ク	ク
M	キ	ク	カ	ク	カ	キ
N	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 5 食文化の多様性について考察したチサキさんたちは，これまで調べてきたことについて振り返りながら先生と話し合った。次の会話文中の下線部 a の具体例は，下の文**タ**と**チ**のいずれかであり，下線部 b の具体例は，下の文**マ**と**ミ**のいずれかである。a と b の具体例を示した文の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 11

チサキ 「食文化の広がりの中で，私たちが a 世界の様々なものを口にできるようになったことを考えてきましたね」

ムスブ 「食べ物が様々なルートで伝播し，b その地域に特有の食べ物が生み出されていくこともみてきました」

先　生 「その両面がみられるのがタピオカミルクティーといえそうですね。食文化はグローバル化がみられるとともに，地域の独自性も大切にされています。次の授業に向けて，もう少し掘り下げていきましょう」

a の具体例

タ 日本でインド料理店やイタリア料理店がみられること

チ 日本で郷土料理店が多言語対応をすること

b の具体例

マ アボカドやカニ風味かまぼこなどを巻いた寿司

ミ 現地で生産された牛乳によってつくられたヨーグルト

	①	②	③	④
a	タ	タ	チ	チ
b	マ	ミ	マ	ミ

問 6 先生と話し合った後にチサキさんたちは，食文化に関わる様々な課題やその解決策について考えた。生徒たちが考えた内容のうち，各地域の食文化に配慮した持続可能な発展につながるものとしては**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 12

① 学校教育の中で，地産地消を通して食文化について学習することで，地域の風土や伝統文化についての理解を深める。

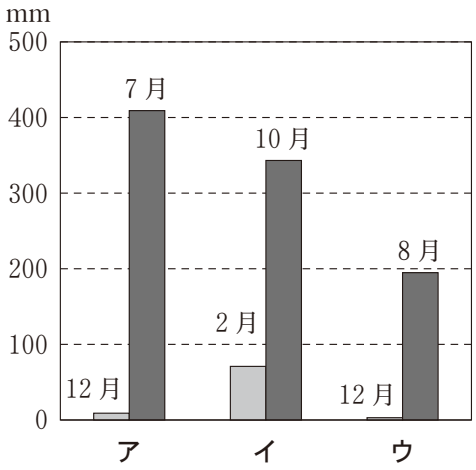
② 国際協力として食料援助を行う際に，井戸の整備や現地の伝統的な食生活に配慮した援助をする。

③ 多国籍企業である穀物メジャーが，農産物の生産・流通や種子・肥料開発などを手がけ，通年で安価な穀物を供給する。

④ 輸出型のプランテーション作物の栽培が続けられてきた地域で，自給作物の栽培を進め，安定的に食料を確保する。

第3問　南アジアに関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点　20)

問1　南アジアには様々な気候帯や農業地域が分布している。次の図1中の**ア**～**ウ**は，図2中の地点A～Cのいずれかにおける最多雨月と最少雨月の月降水量を示したものである。地点Aに該当する月降水量と，図2中のE州において小麦と米のうち生産量が多い作物との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13



気象庁の資料により作成。

図　1

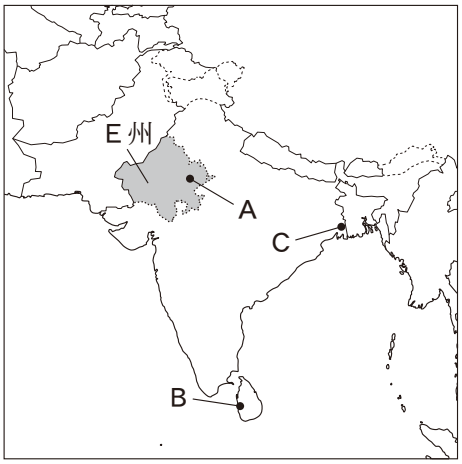
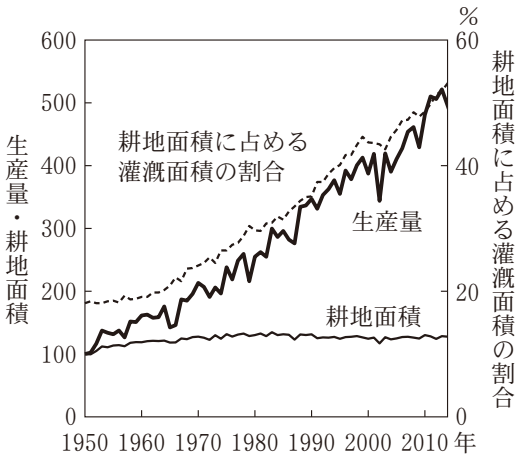


図　2

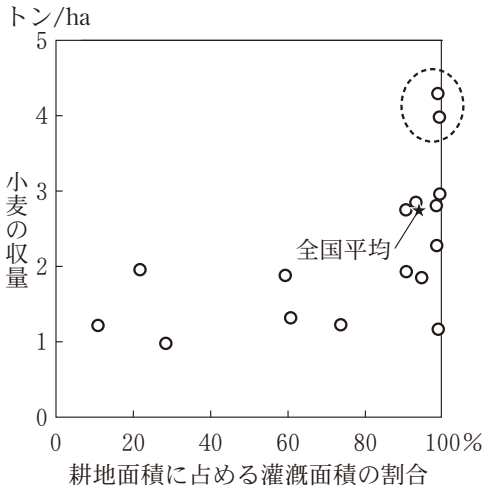
	①	②	③	④	⑤	⑥
地点Aに該当する月降水量	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
E州において生産量が多い作物	小　麦	米	小　麦	米	小　麦	米

問2　次ページの会話文は，高校生のトモさんとセナさんが，インドにおける穀物の生産量の変化とその要因について，次ページの図3と図4をもとに先生と話し合ったものである。会話文中の空欄**カ**と**キ**に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 14



インド政府の資料により作成。

図　3



統計年次は 2014～2015 年。インド政府の資料により作成。

図　4

ト　モ　「図 3 は，インドにおける穀物の生産量と耕地面積について，1950 年の値を 100 とした指数の推移を示しています。耕地面積に占める灌漑(かんがい)面積の割合とともに，生産量も増えていますね」

セ　ナ　「この図から考えると，生産量が増加した主な要因は(　**カ**　)の拡大といえますね」

先　生　「作物や地域ごとの差に注目することも大切です。図 4 は，小麦の耕地面積に占める灌漑面積の割合と，小麦の収量を州ごとに示したものです。灌漑面積の割合が 100 % に近い州でも，収量には大きな差がありますね」

ト　モ　「点線で囲まれた州の収量が特に高い理由としては，自然条件とともに，(　**キ**　)の栽培が広く行われていることが考えられますね」

	①	②	③	④
カ	耕地面積	耕地面積	灌漑面積	灌漑面積
キ	改良した品種	在来の品種	改良した品種	在来の品種

問 3　次の写真1と写真2は，南アジアでみられる料理を撮影したものである。これらの写真に関連することがらについて述べた下の文章中の空欄**サ**と**シ**に当てはまる語の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。

15

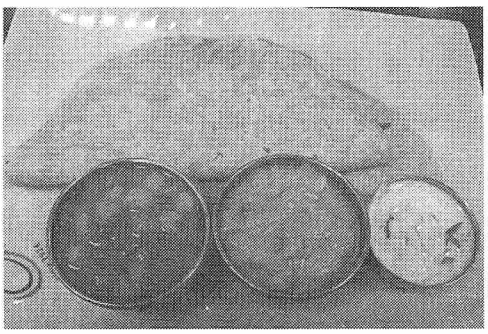


写真　1

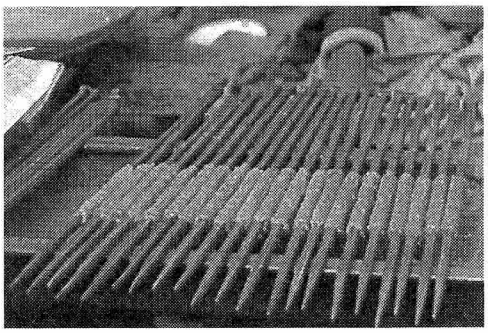


写真　2

写真1は，小麦粉に水を加えてこねた生地を平焼きにした料理である。また，写真2は，羊肉などをひき肉にし，串に張り付けて炭火で焼き上げた料理である。これらの料理の素材と調理法は，（　**サ**　）で食されてきた料理と共通している。写真1の料理にはカレーが添えられており，コショウ，ターメリックなどの香辛料が使われている。これら二つの香辛料は，植民地時代以前から主に（　**シ**　）で生産されてきた。

	サ	シ
①	東南アジア	サハラ以南アフリカ
②	東南アジア	南アジア・東南アジア
③	西アジア	サハラ以南アフリカ
④	西アジア	南アジア・東南アジア

問 4 次の表1は，インドにおけるいくつかの食料品について，2010年の1人当たり年間供給量と，それを1970年の値を100とした指数で示したものであり，J～Lは，家禽(かきん)*の肉，牛肉(水牛を含む)，牛乳のいずれかである。食料品名とJ～Lとの正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

*鶏や七面鳥など。

表 1

	2010年の1人当たり年間供給量(kg)	1970年の値を100とした指数
J	49.8	215
K	1.8	1,082
L	1.5	63

FAOSTATにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
家禽の肉	J	J	K	K	L	L
牛　肉	K	L	J	L	J	K
牛　乳	L	K	L	J	K	J

問 5　次の写真 3 と写真 4 は，南アジアの気候や歴史の影響を受けた衣服を撮影したものである。これらの写真に関連することがらについて述べた下の文章中の空欄**タ**と**チ**に当てはまる語の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 17



写真　3



写真　4

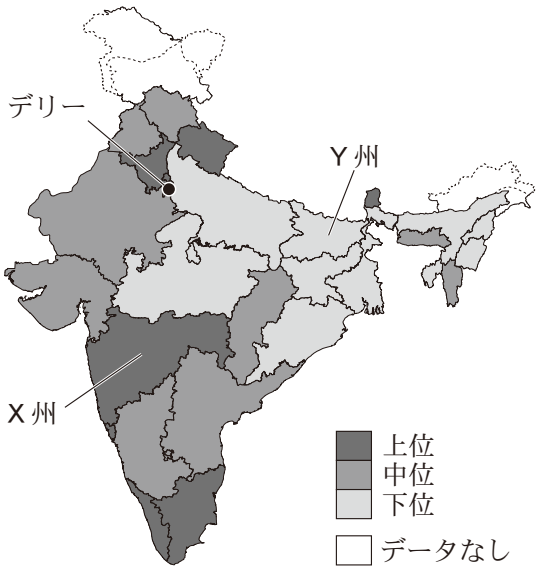
写真 3 は，サリーとよばれる衣服である。一枚の布を体に巻きつけて着るもので，体を締め付けないゆとりのある形をしていて（　**タ**　）が高く，主にヒンドゥー教徒の女性が着る。

写真 4 は，マドラスチェックとよばれる柄の衣服である。チェンナイ（マドラス）では，職人によってこの柄の（　**チ**　）がつくられてきた。ヨーロッパに広まったこの柄には，イギリスの影響を受けて変化したものがみられる。

	①	②	③	④
タ	通気性	通気性	保温性	保温性
チ	綿織物	毛織物	綿織物	毛織物

問 6　経済が急速に成長しているインドでは，地域間の経済格差が大きい。次の図 5 は，インドにおける 1 人当たり州*内総生産を示したものであり，表 2 は，図 5 中のX州とY州における人口増加率，2001 年と 2011 年の都市人口率，都市の失業率と，それらの指標の全国平均を示したものである。図 5 と表 2 から読み取れることがらとその背景について述べた下の文章中の下線部①～④のうちから，**適当でないもの**を一つ選べ。 18

*連邦直轄地を含み，島嶼（とうしょ）部と国境係争地を除く。



統計年次は 2011 年または 2012 年。
インド政府の資料により作成。

図　5

表　2

（単位：%）

		X州	Y州	全国平均
人口増加率		16.0	25.4	17.7
都市人口率	2001 年	42.4	10.5	27.8
	2011 年	45.2	11.3	31.1
都市の失業率		2.3	5.6	3.4

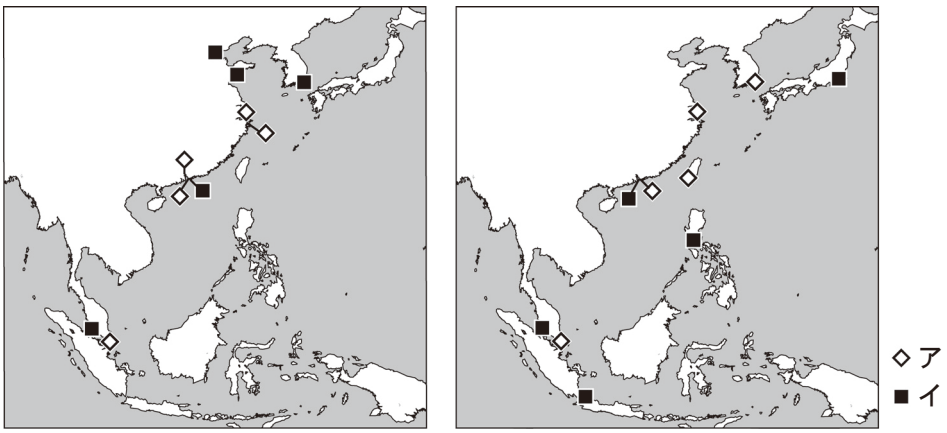
統計年次は，人口増加率が 2001～2011 年，都市の失業率が 2011 年。インド政府の資料により作成。

インドでは，①自動車産業や情報通信技術産業の成長を背景として，西部やデリー周辺などに経済発展が顕著な地域がみられる。それらの地域では，X州のように都市への人口集中が進み，②雇用機会が豊富であると考えられる。③東部や内陸部には経済発展が遅れた地域が広くみられ，Y州では④農村部の人口が減少している。

第4問　世界の結びつきと地球的課題に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(配点　20)

問1　現代の世界は，様々な商品の物流によって互いに結びついている。次の図1は，いくつかの年のコンテナ貨物取扱量について，東・東南アジアにおける上位10位までの港の位置を示したものであり，AとBは2000年と2018年のいずれかである。また，図1中の凡例**ア**と**イ**は，コンテナ貨物取扱量上位1～5位の港と，6～10位の港のいずれかである。2018年の図と上位1～5位の港との正しい組合せを，下の①～④のうちから一つ選べ。 19

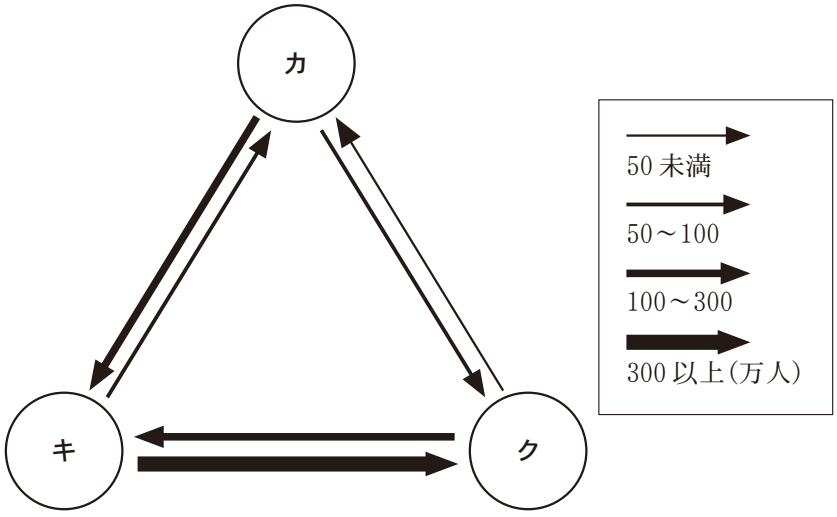


Review of Maritime Transport などにより作成。

図　1

	①	②	③	④
2018年の図	A	A	B	B
上位1～5位の港	ア	イ	ア	イ

問 2 世界の様々な地域は，旅行客の移動によって結びついている。次の図 2 は，いくつかの国について，2017 年における国家間の旅行客の移動を示したものであり，**カ**～**ク**は，イギリス，イタリア，オーストラリアのいずれかである。**カ**～**ク**と国名との正しい組合せを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

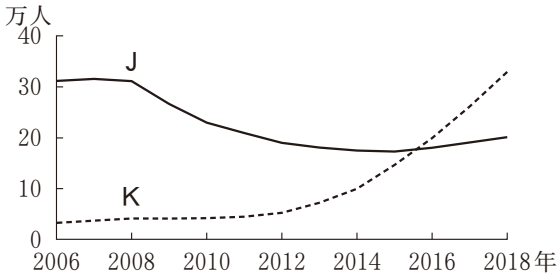


統計年次は 2017 年。World Tourism Organization の資料により作成。

図 2

	カ	キ	ク
①	イギリス	イタリア	オーストラリア
②	イギリス	オーストラリア	イタリア
③	イタリア	イギリス	オーストラリア
④	イタリア	オーストラリア	イギリス
⑤	オーストラリア	イギリス	イタリア
⑥	オーストラリア	イタリア	イギリス

問 3 国境を越えた労働力の移動は，世界の地域間の結びつきを強めている。次の図3中のJとKは，日本に在留するブラジル国籍とベトナム国籍の居住者のいずれかについて，全国の居住者数の推移を示したものである。また，下の図4中のMとNは，日本に在留するブラジル国籍とベトナム国籍の居住者のいずれかについて，2018年の全国の居住者数に占める都道府県別の割合を示したものである。ベトナム国籍の居住者に該当する正しい組合せを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 21



『在留外国人統計』により作成。

図 3



統計年次は2018年。『在留外国人統計』により作成。

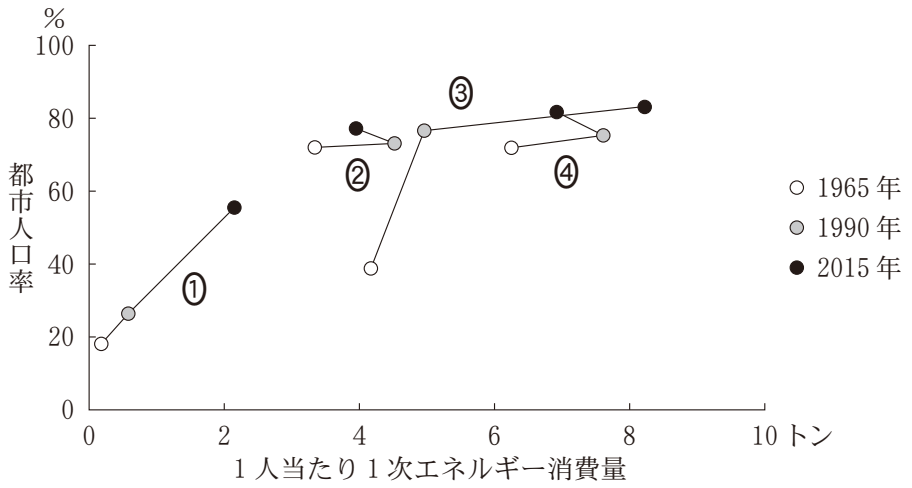
図 4

	①	②	③	④
全国の居住者数の推移	J	J	K	K
都道府県別の割合	M	N	M	N

問 4 産業化や都市化の進展に伴うエネルギー消費の急速な増加は，地球的課題の一つとなっている。次の図 5 は，いくつかの国における 1965 年，1990 年，2015 年の 1 人当たり 1 次エネルギー消費量*と都市人口率を示したものであり，①～④は，アメリカ合衆国，サウジアラビア，中国**，ドイツ***のいずれかである。ドイツに該当するものを，図 5 中の①～④のうちから一つ選べ。

22

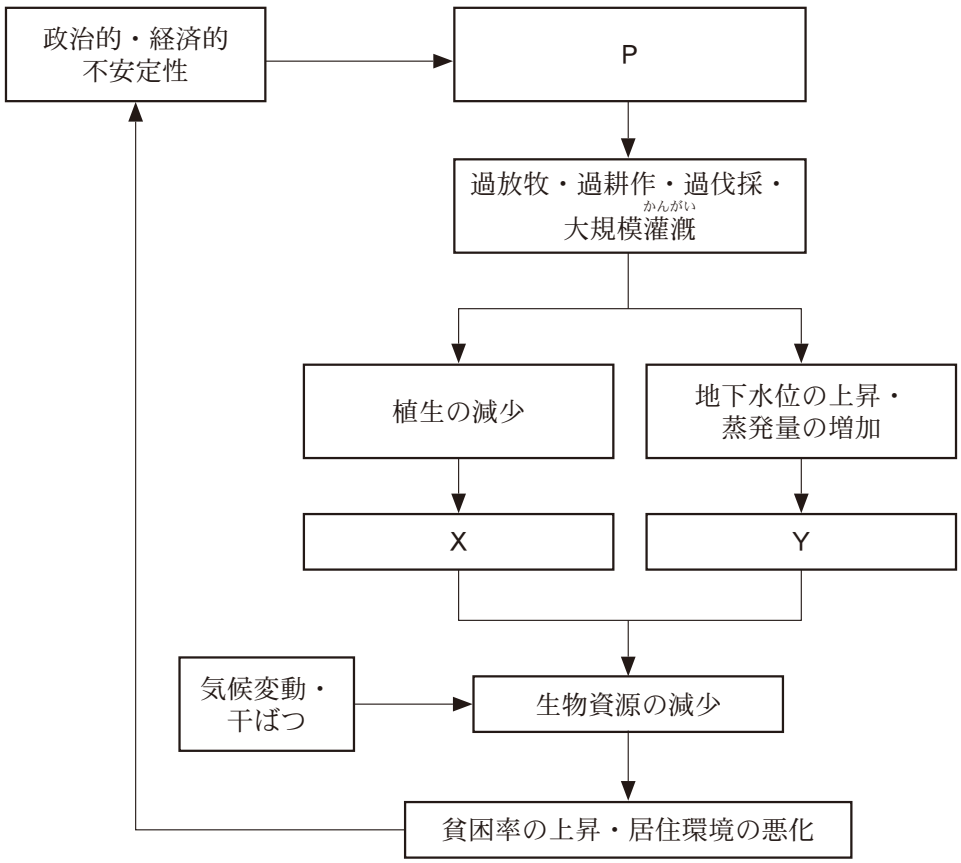
*石油に換算したときの値。
**台湾，ホンコン，マカオを含まない。
***1965 年は旧西ドイツと旧東ドイツを合わせた値。



BP Statistical Review of World Energy などにより作成。

図 5

問 5 地球的課題の一つである砂漠化は，複雑なメカニズムで起こると考えられている。次の図 6 は，砂漠化のメカニズムとその影響を示した模式図であり，下の文**サ**と**シ**のいずれかは，図 6 中の P の状況に関することがらを述べたものである。また，図 6 中の空欄 X と Y には，塩類の集積と土壌侵食の増加のいずれかが当てはまる。P の状況に関することがらを述べた文と空欄 X に当てはまる語句との組合せとして最も適当なものを，次ページの①～④のうちから一つ選べ。 23



環境省の資料などにより作成。

図 6

サ 家族計画の推進による人口構造の変化

シ 市場経済の拡大による資源需要の増加

	①	②	③	④
P	サ	サ	シ	シ
X	塩類の集積	土壌侵食の増加	塩類の集積	土壌侵食の増加

問 6 地球的課題を解決するために，世界各地で様々な取組みが積み重ねられてきた。先進国と発展途上国との経済格差の是正に直接つながる取組みとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 24

① 市街地での自動車の利用を制限し，排出ガスを抑制するなどして，環境の悪化を防ぐ。

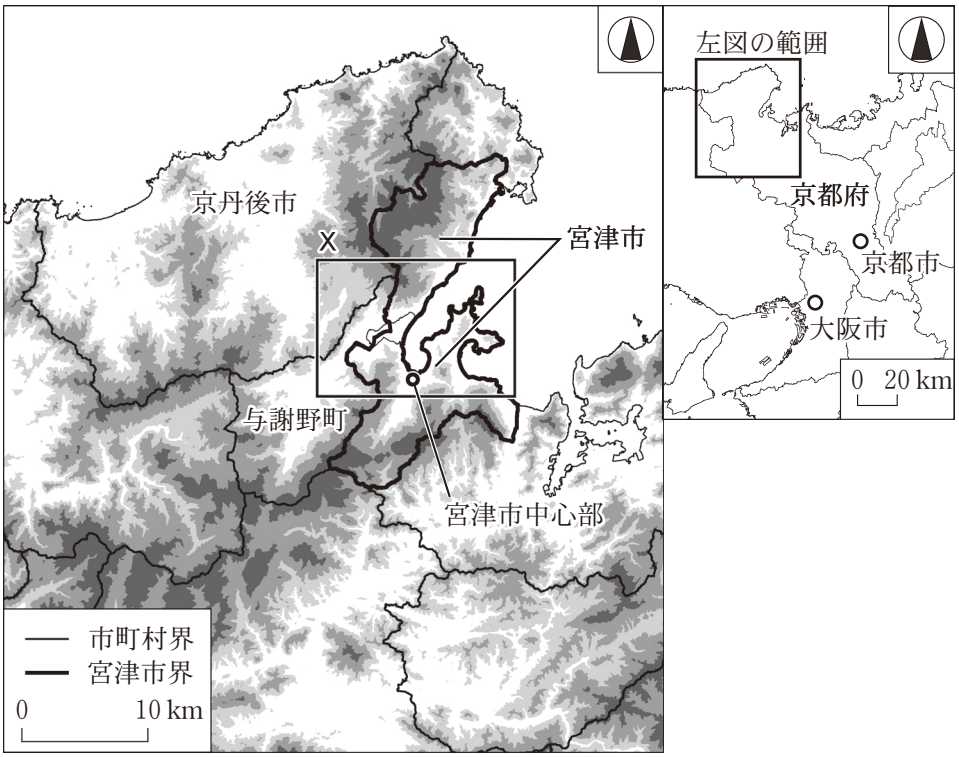
② 自然環境を保全する取組みを行うことにより，生物の多様性を守る。

③ 農産物や製品などの商取引が，生産者にとって公平な価格で行われるような仕組みをつくる。

④ 廃棄される食品の量を減少させるために，流通を効率的に管理するシステムをつくる。

地理A

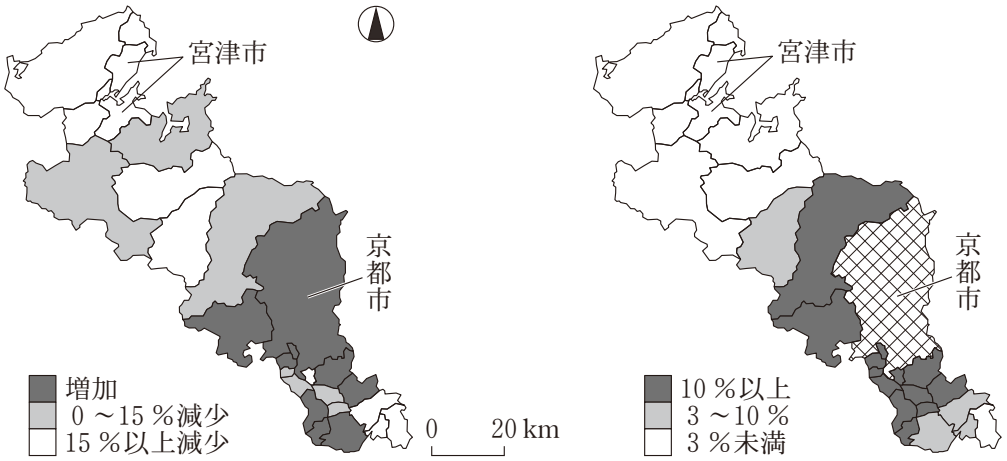
第5問 京都市に住む高校生のタロウさんは，京都府北部にある宮津（みやづ）市の地域調査を行った。次の図1を見て，この地域調査に関する下の問い（**問1** ～ **6**）に答えよ。（配点　20）



左図の陸地では，色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。
宮津市界の一部は水面上にある。
国土数値情報などにより作成。

図　1

問 1 タロウさんは，京都府における人口変化の地域差と京都市との関係を調べるために，主題図を作成した。次の図 2 は，京都府の各市町村について，1990～2015 年の人口増減率と 2015 年の京都市への通勤率を示したものである。図 2 から読み取れることがらを述べた文として正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 25



1990～2015 年の人口増減率　　2015 年の京都市への通勤率

国勢調査により作成。

図　2

① 宮津市とその隣接市町村では，すべての市町村で人口が 15 % 以上減少している。

② 京都市への通勤率が 10 % 以上の市町村では，すべての市町村で人口が増加している。

③ 京都市への通勤率が 3 ～10 % の市町村の中には，人口が増加している市町村がある。

④ 京都市への通勤率が 3 %未満の市町村の中には，人口が増加している市町村がある。

問 2 タロウさんは，宮津市の中心部が城下町であったことに関心をもち，現在の地形図と江戸時代に描かれた絵図を比較して，地域の変化を調べることにした。次ページの図 3 中の**ア**は，宮津市中心部の現在の地形図であり，**イ**は，**ア**とほぼ同じ範囲の江戸時代に描かれた宮津城とその周辺の絵図を編集したものである。図 3 から読み取れることがらとして最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 26

① 新浜（しんはま）から本町（ほんまち）にかけての地区には，江戸時代は武家屋敷が広がっていた。

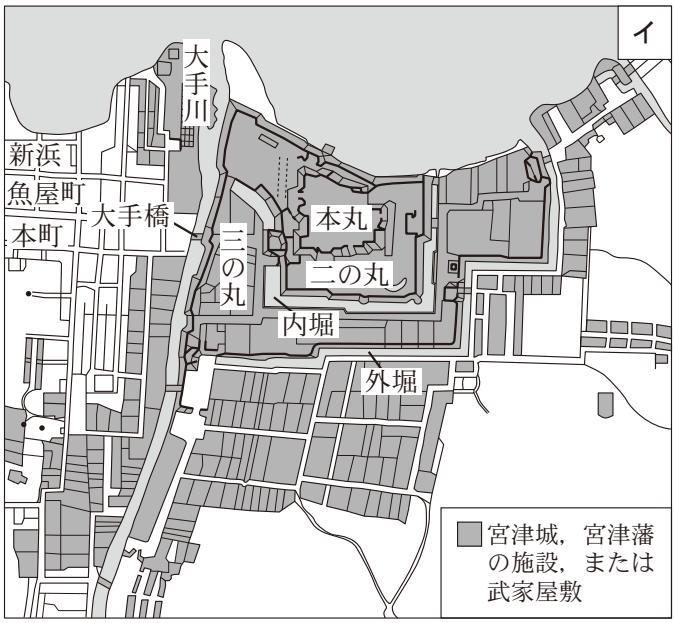
② 体育館の北側にある船着き場は，近代以降の埋立地に立地している。

③ 宮津駅から大手橋（おおてばし）までの道は，江戸時代から城下町の主要道であった。

④ 宮津城の本丸の跡地には，市役所を含む官公庁が立地している。



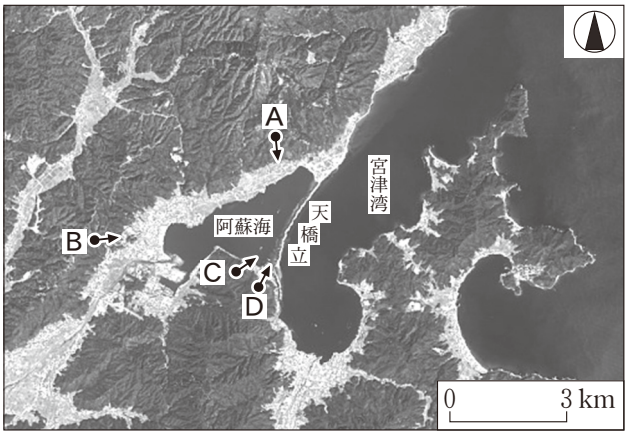
地理院地図により作成。



弘化 2 (1845) 年に描かれた絵図を編集したものであるため歪みがある。
『宮津市史』をもとに作成。

図　3

問 3　宮津湾と阿蘇海の間にある砂州は天橋立と呼ばれ，有名な観光地であることを知ったタロウさんは，様々な地点から天橋立の写真を撮影した。次の図 4 は，図 1 中の X の範囲を示したものであり，下の写真 1 は，図 4 中の地点 A ～ D のいずれかから矢印の方向に撮影したものである。地点 A に該当するものを，写真 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 27



地理院地図により作成。

図　4



①



②



③



④

写真　1

問 4　天橋立近くの土産物店で丹後ちりめんの織物製品が数多く売られているのを見たタロウさんは，丹後ちりめんについて調べ，次の資料1にまとめた。資料1中の空欄**カ**～**ク**に当てはまる語の正しい組合せを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 28

資料　1

●丹後ちりめんの特徴



・生地に細かい凹凸のある絹織物。

・しわが寄りにくく，風合いや色合いに優れる。

・主要な産地は京都府の京丹後市と与謝野町で，冬季の（　**カ**　）季節風が生産に適する。

●丹後ちりめんの動向

・1960～70年代：豊富な労働力や広い土地を求めた京都市の西陣織の業者から仕事を請け負い，生産量が多かった。

・1980～90年代：和服を着る機会が減少したことと（　**キ**　）な織物製品の輸入が急増したことで，生産が縮小した。

・2000年以降：洋服の生地や，スカーフ，インテリア用品などの商品開発を進めるとともに，（　**ク**　）により海外市場へ進出しつつある。

	カ	キ	ク
①	乾いた	安　価	大量生産
②	乾いた	安　価	ブランド化
③	乾いた	高　価	大量生産
④	乾いた	高　価	ブランド化
⑤	湿った	安　価	大量生産
⑥	湿った	安　価	ブランド化
⑦	湿った	高　価	大量生産
⑧	湿った	高　価	ブランド化

問 5　タロウさんは，宮津市北部の山間部にある集落で調査を行った。次の資料 2 は，ある集落の住民に対してタロウさんが実施した聞き取り調査の結果を整理したものと，その内容から考察したことをまとめたものである。タロウさんの考察をまとめた文として**適当でないもの**を，資料 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 29

資料　2

【聞き取り調査の結果】

●小学校（分校）の廃校

・かつては集落に子どもが多かったため，分校が設置されていた。

・廃校に伴い，集落の小学生は，遠くの学校に通うことになる。

●伝統的な文化や技術の継承

・春祭りで行われていた太刀振（たちふ）り神事が途絶えてしまった。

・集落にある植物を用いた織物や和紙がつくられてきた。

●都市と農村の交流

・NPO や地元企業などにより，棚田の保全が進められている。

・集落の周辺で，ブナ林や湿地などをめぐるツアーが行われている。

●移住者の増加

・米作りや狩猟を行うことを目的として移住してきた人がいる。

・移住者の中には，古民家を改修して居住する人がいる。

【考察】

① 小学校の廃校は，若年層の継続的な流出や少子化が背景にある。

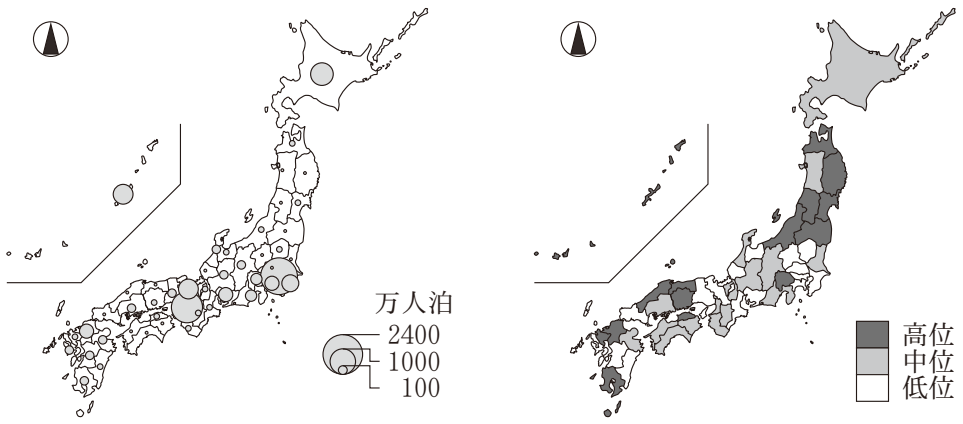
② 住民の高齢化により，伝統的な文化や技術の担い手が減少している。

③ 自然環境への関心の高まりにより，都市と農村の交流が進められている。

④ 移住者の増加は，宮津市における人口の郊外化が背景にある。

問 6　天橋立で多くの外国人を見かけたタロウさんは，外国人観光客の動向を調べることにした。次の図 5 は，2018 年の外国人延べ宿泊者数*と，その 2013 年に対する比を都道府県別に示したものである。また，下の文章は，図 5 から読み取れることがらとその背景について述べたものであり，空欄**サ**には大阪府と沖縄県のいずれか，空欄**シ**には下の文 F と G のいずれかが当てはまる。空欄**サ**に当てはまる府県名と空欄**シ**に当てはまる文との組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 30

*宿泊者数×宿泊数。



2018 年　　2013 年に対する比

観光庁の資料により作成。

図　5

2018 年の外国人延べ宿泊者数をみると，東京都が最多であり，次に多いのが(　**サ**　)である。また，2013 年に対する比をみると，外国人延べ宿泊者数が少ない県で高位を示すところが多く，この背景として，(　**シ**　)外国人旅行者が増加し，外国人の宿泊地が多様化したことが考えられる。

F　温泉や農山漁村を訪れて体験型の観光を楽しむ

G　ショッピングや大型テーマパークを楽しむ

①　大阪府 ― F　　②　大阪府 ― G　　③　沖縄県 ― F　　④　沖縄県 ― G